

- 問1 東京駅から東北新幹線に乗りし、関東地方から北上して東北地方に入った際、最初に通過する県はどこか。この県は東北地方の最も南に位置しており、交通網の整備に伴って工業が発展した特色を持つ。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 山形県 2. 岩手県 3. 宮城県 4. 福島県
- 問2 三陸海岸の南部など、海岸線が細かくギザギザに入り組んだ地形が、魚介類の養殖に適している理由として最も適切な説明はどれか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. 干潮時に広い干潟が現れるため、養殖用の棚を設置する作業が容易になるから 2. 水深が非常に浅く、太陽光が海底まで届きやすいためプランクトンが急増するから 3. 外海からの強い波が遮られ、湾内の波が年間を通じて穏やかに保たれるから 4. 川から運ばれてきた土砂が堆積し、栄養分の多い平らな海底が沖合まで広がるから
- 問3 日本の地域区分における都道府県の境界について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 福島県は、東北地方に属しながら関東地方の県と境界を接している。 2. 山形県は、関東地方の栃木県と直接境界を接している唯一の東北地方の県である。 3. 宮城県は、東北地方の県の中で最も南に位置し、千葉県と隣接している。 4. 秋田県は、東北地方の中で唯一、中部地方の県と境界を接している。
- 問4 1990年から2000年にかけての東北地方における稲の収穫量を確認すると、1993年にだけ突出して収穫量が少なくなっていることが分かります。この年に発生した、太平洋側を中心とする不作の直接的な原因を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 夏の太平洋高気圧の勢力が強く、激しい干ばつと水不足が続いたため。 2. 日本海側から山を越えて吹き降りる乾燥した熱風により、稲が枯れたため。 3. 冬の季節風が非常に強く、春先に苗が凍結する被害が続出したため。 4. 夏に北東から冷たい風が吹き込み、気温が上がらず日照不足となったため。
- 問5 日本各地で外国人観光客の誘致（インバウンド）が進む中、秋田県において東アジア地域からの宿泊客が全体の7割を超えるほど高い割合を占めている要因として、地理的な視点から考察した説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 日本との物理的な距離が近く、航空路線の整備などにより移動の負担が比較的小さいため 2. 公用語として日本語を採用している国が多く、言葉の壁による心理的な障壁が低いため 3. 赤道に近い低緯度地域に位置しており、熱帯気候の人々が冬の雪を求めて移動しやすいため 4. 時差が10時間以上ある遠方から、長期滞在を目的とした休暇利用者が多く訪れるため
- 問6 東北地方の地形について述べた次の文の空欄にあてはまる山脈として正しいものを、後の選択肢から一つ選びなさい。「東北地方の中央部には、日本最長の長さを持ち、脊梁山脈とも呼ばれる（ ）が南北に走っている。この山脈は、日本海側と太平洋側の気候を分ける境界としての役割も果たしている。」 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 北上山地 2. 越後山脈 3. 奥羽山脈 4. 出羽山脈
- 問7 宮城県の沿岸部ではカキの生産が非常に盛んであり、全国の生産量の約六割を占めるという統計もあります。この地域において、カキの養殖がこれほどまでに発達した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 広大な大陸棚が広がっており、寒流と暖流がぶつかる潮目（潮境）が近いため、網を使って一度に大量の貝を捕獲できるため。 2. 稚貝を人工的に孵化させたあとに一度外洋へ放流し、成長して再び戻ってきた個体を効率よく捕獲する仕組みが確立されているため。 3. リアス海岸の急峻な崖によって日照時間が制限されることが、カキの身を大きく太らせるために必要な環境条件と一致しているため。 4. 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。
- 問8 東北地方の地図において、奥羽山脈の西側（日本海側）から青森県にかけての広い範囲が共通の気候区分として示されることがあります。この地域の冬の気候メカニズムと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 太平洋側から吹き込む暖かくて湿った空気の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、1月の平均気温が氷点下になることはほとんどない。 2. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため、雪はほとんど降らず、1月の降水量は100mm未満と非常に少なくなる。 3. 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかることで雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。 4. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響が冬まで残るため、1年を通じて降水量が多く、1月の平均気温は氷点下にはならないが日照時間が極端に短い。
- 問9 東北地方の都道府県の位置関係について述べた文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 岩手県と青森県は直接接しておらず、間に秋田県が位置している。 2. 福島県と岩手県は直接接しておらず、間に宮城県が位置している。 3. 青森県と秋田県は直接接しておらず、間に岩手県が位置している。 4. 秋田県と山形県は直接接しておらず、間に宮城県が位置している。
- 問10 日本の諸地域における面積と人口の割合を整理した統計において、国土全体に占める面積の割合が約18%であるのに対し、人口の割合が約7%にとどまっている地方があります。この地方の人口密度に関する記述として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. 広大な平野部に人口が集中しているため、全国でも有数の高い人口密度を示している。 2. 人口の割合が面積の割合を大きく上回っており、都市部での過密化が最大の課題となっている。 3. 面積の割合に比べて人口の割合が小さいため、全国的に見て人口密度が低い。 4. 面積の割合と人口の割合がほぼ一致しており、全国平均に近い人口密度である。
- 問11 東北地方に位置するある県は、太平洋に面しているものの海岸線の長さは約167kmと比較的短く、一方で陸地では6つの県と境を接しているという特徴があります。この条件に該当する県として正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 岩手県 2. 秋田県 3. 福島県 4. 宮城県
- 問12 仙台駅を起点とした東北地方の移動について、鉄道の整備状況と所要時間の関係を示した記述として正しいものはどれですか。なお、仙台駅から盛岡駅へは約39分、秋田駅へは約139分、気仙沼駅へは約129分かかるものとします。 (2026年 広島県公立入試 類似)
1. 気仙沼駅へは新幹線が整備されているため、秋田駅へ向かうよりも短い時間で移動することが可能である 2. 新幹線を利用しない気仙沼駅への移動時間は、高速化された在来線により、新幹線を利用する盛岡駅よりも短い 3. 秋田新幹線が利用できる秋田駅への移動には、東北新幹線が利用できる盛岡駅へ向かうよりも長い時間を要する 4. 盛岡駅、秋田駅、気仙沼駅のいずれの都市へも、新幹線の整備によって仙台駅から1時間以内で到達できる